

福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業

審査講評

平成29年12月25日

福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業審査委員会

福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業審査委員会（以下「審査委員会」という。）は、福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業（以下「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（平成 29 年 6 月 26 日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

平成 29 年 12 月 25 日

福岡市西部水処理センター下水汚泥固形燃料化事業審査委員会
委員長 楠田 哲也

1. 審査委員会の構成

委員長	楠田 哲也	九州大学名誉教授
副委員長	中村 伸二	福岡市 道路下水道局 下水道施設部長
委員	実積 寿也	中央大学総合政策学部教授
	寺嶋 光春	北九州市立大学大学院国際環境工学研究科准教授
	水木 祐一	(株)日本政策投資銀行九州支店企画調査課長
	荒木 慎二	福岡市 財政局 技術監理部長
	山口 久嘉	福岡市 財政局 アセットマネジメント推進部長
	中村 裕輔	福岡市 道路下水道局 総務部長
	竹廣 喜一郎	福岡市 道路下水道局 計画部長

2. 審査委員会の開催経過

日程	内容	主な議題
平成 29 年 1 月 23 日	第 1 回審査委員会	実施方針及び要求水準書（案）について
平成 29 年 5 月 8 日	第 2 回審査委員会	入札公告資料及び落札者決定基準について
平成 29 年 11 月 22 日	第 3 回審査委員会	技術提案書審査
平成 29 年 12 月 1 日	第 4 回審査委員会	最優秀提案の選定、審査講評について

3. 審査の方法

事業者の参加資格を審査する入札参加資格の確認及び技術提案に関する要件の確認、総合評価を実施した。

入札参加者の参加資格の確認については、福岡市が入札説明書（平成 29 年 6 月 26 日公表、平成 29 年 8 月 8 日最終版公表）の参加要件に基づいて行った。

技術提案に関する要件の確認、総合評価については、審査委員会が落札者決定基準に基づき、具体的な提案内容の審査及び評価を行った。

4. 審査の結果

（1）入札参加資格の確認

2 グループから入札参加資格申請があり、入札説明書に示す参加資格の要件の具備について確認を行った結果、いずれのグループも参加資格を有していることを確認し、平成 29 年 8 月 18 日付で、入札参加資格確認結果通知書を事業者に通知した。

（2）技術提案に関する要件の確認

1 グループから技術提案書類の提出があり、各様式に記載された内容が要求水準を全て満たしていることを確認し、平成 29 年 11 月 13 日付で、技術提案に関する要件確認結果通知書を事業者に通知した。

(3) 総合評価の実施

	項目	配点	点数	審査講評
価格評価点		400	400.00	$400 \text{ 点} \times \frac{9,472,929,000 \text{ 円}}{9,472,929,000 \text{ 円}}$ $\left(400 \text{ 点} \times \frac{\text{最も低い入札価格}}{\text{当該入札参加者の入札価格}} \right)$
技術評価点	事業の安定性に関する事項 (170)			
	利用先の安定性	100	90.00	・固形燃料の利用先企業に関し、複数確保を行い、製造見込量を上回る総受入可能量を確保したことが評価された。
	設計実績	30	30.00	・燃料化施設の設計実績が評価された。
	施工実績	40	30.00	・燃料化施設の複数の施工実績が評価された。
	維持管理・運営に関する事項 (170)			
	安定的な運転	120	107.84	・汚泥発生量の増加への対策や、汚泥性状の変化に対し品質安定化を図る工夫が評価された。
	故障時・緊急時における対応	50	28.20	・故障に際し、維持管理業者と設備納入業者とが連携することで、復旧の迅速化を図る対策については評価されたが、故障発生を未然に防ぐ対策については一般的なものに留まる。
	環境配慮に関する事項 (140)			
	環境への配慮	40	40.00	・固形燃料を利用することで削減できるCO ₂ 排出見込量などが評価された。
	臭気対策	100	83.57	・臭気を施設外へ漏洩させないための工夫や、万が一漏洩した場合でも、早急に感知・対応出来るための工夫について、具体的な対策が評価された。
	地域経済・社会への貢献 (120)			
	地場企業参画	100	57.84	・各工程において、地域性を活かした、定量かつ効果的な提案がなされた。
景観への配慮	10	6.78	・周辺環境との調和への配慮が評価された。	
見学対応・広報・啓発	10	7.14	・多様な見学者に対する、施設見学資料の工夫が評価された。	
総合評価		1,000	881.37 -881.4	(端数処理)

(4) 総評

本事業における最優秀提案者からの提案は、市が掲げた要求水準を全て満たし、かつ、多くの部分で要求水準を上回った。下水汚泥の特性である性状変動への対応や、臭気対策を特に重視した提案、製造された固形燃料の利用先を複数確保するなど、設計、建設、維持管理に渡って汚泥処分の長期安定性が確保された優良なものであった。

今後、本事業を実施するに際し、審査委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、福岡市と十分な協議を行い、特に以下の点について配慮されることを要望する。

- ・故障を未然に防ぐための工夫について、検討・研究を継続し、供用中の類似施設における不具合事例等について広く情報を取り入れ、対策について福岡市と継続的に協議を行い、より安定した事業推進に努めること。
- ・工事期間中の安全対策及び周辺環境対策については、福岡市との綿密な協議のもと、周辺住民、施設利用者、施設内従事者への配慮を十分に行うこと。
- ・維持管理・運営期間中においては、周辺環境の良好な保全に努め、常に配慮を怠らないこと。
- ・見学者の関心を高めるための工夫や、下水道への知識・関心をより効果的に向上できる工夫を検討し、設計に反映すること。

事業実施にあたり、福岡市と最優秀提案者とのお互いの経験とノウハウが合わさった良好なパートナーシップのもと、最優秀提案者においては、市民ニーズに合致した質の高い公共サービスの提供のため、尽力されるよう期待するところである。